

株主通信

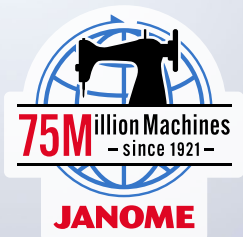
第98期 第2四半期

(2023年4月1日～2023年9月30日)

JANOME

証券コード：6445

株式会社ジャノメ



ミシン生産累計7,500万台達成記念モデル

Memory Craft 9480 QC
PROFESSIONAL



【MFエコマシン認証】取得モデル
エレクトロプレスJPシリーズ5 両手押しスイッチ仕様(クリーン仕様)

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第98期第2四半期（2023年4月1日から2023年9月30日まで）の事業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におきましては、米国経済は消費が安定的に推移するなど総じて堅調な動きとなり、日本でも経済活動の正常化によりサービス消費は回復の兆しが表れる中、設備投資も底堅く推移し内需主導で景気が回復しました。しかしながら、欧州ではエネルギー価格高騰の影響が長引き経済活動にダメージを与え、先進国の経済成長は相対的に低く推移しています。中国では依然として厳しい経済情勢が続いており、ゼロコロナ政策解除後も経済回復傾向はみられないなど、総じて世界経済は不安定な推移となりました。

このような中、当社グループにおきましては、新製品の投入等により消費意欲の創出と市場の需要喚起や、コスト削減による生産性向上に取り組ましました。

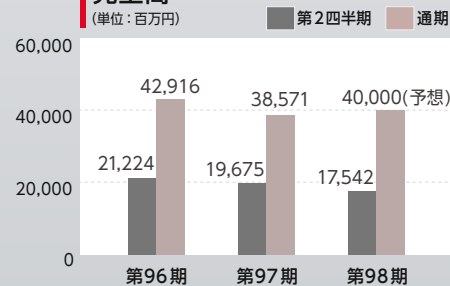
しかしながら、市場環境は厳しく、当第2四半期の売上高は17,542百万円（前年同期比2,132百万円減）、営業利益は279百万円（前年同期比381百万円減）、経常利益は392百万円（前年同期比793百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は31百万円（前年同期は816百万円の損失）となりました。

当社グループは、今後ともみなさまからいただいた信頼を糧に、長期的ビジョンに立った継続的成長を図りつつ、収益力の高いグローバル企業を目指し、継続的な企業価値向上に向け努力してまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

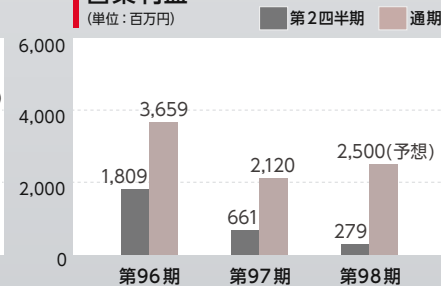
代表取締役社長

齋藤 真

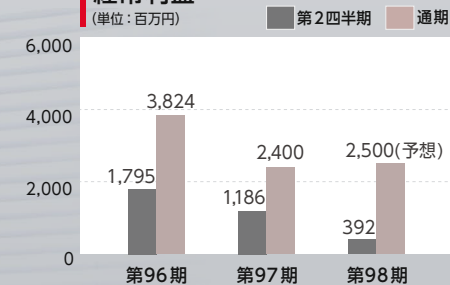
売上高



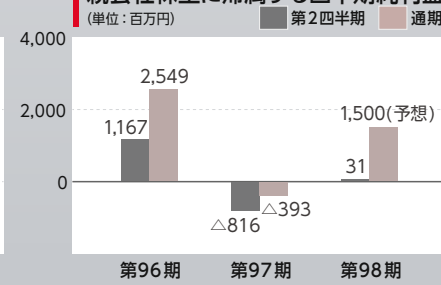
営業利益



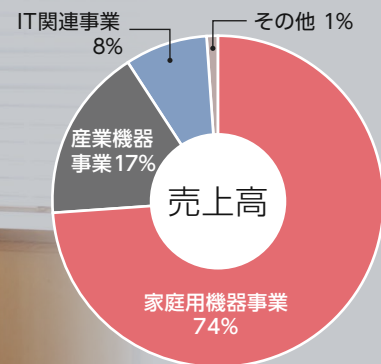
経常利益



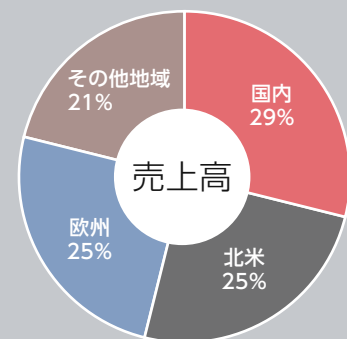
親会社株主に帰属する四半期純利益



セグメント別売上高構成比



地域別売上高構成比



家庭用機器事業

ミシン等の家庭用機器の製造・販売

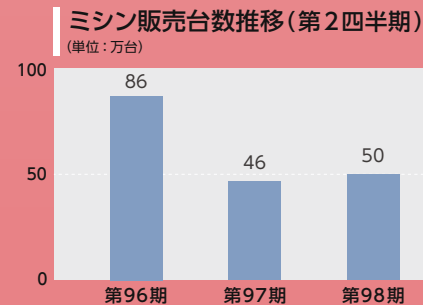
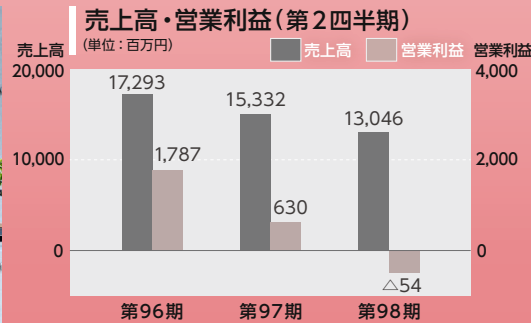
家庭用機器事業におきましては、北米や欧州等の先進国では新製品の紹介・販売活動を開始し、高付加価値製品を中心として販売に注力しましたが、普及型の低・中価格帯製品が想定していたほどの販売には至りませんでした。一方で、インド向け売上げが底堅く推移し、全体の台数に寄与しました。

国内では、パイロットショップ「ボビナージュ」等でのワークショップやイベント、SNSを通じた情報発信や、学校販売部門による授業支援等、モノづくりの楽しさを伝えることで拡販を図りました。また、スタイリッシュなカラーデザインモデル「SEWLA (ソーラ)」を新発売するなど、話題性のある取り組みにも注力したものの、厳しい状態が続きました。

この結果、家庭用機器事業全体の売上高は13,046百万円(前年同期比2,285百万円減)、営業損失は54百万円(前年同期は630百万円の利益)となりました。



SEWLA

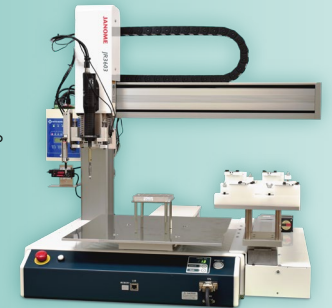


産業機器事業

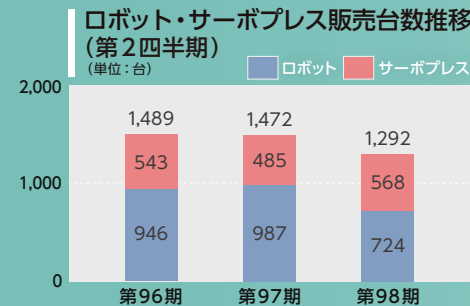
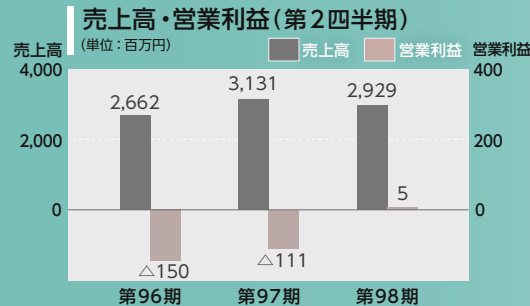
卓上ロボット・サーボプレス・ダイカスト鋳造品等の産業機器の製造・販売

産業機器事業におきましては、EV関連からの受注の増加等、収益面でも回復傾向にある中、国内における営業拠点の新設や製品ラインアップの充実を図るための事業取得等を進めました。しかし、主力の中国市場では、経済の成長鈍化に伴う設備投資環境の停滞により、生産現場からの産業機器製品への需要は低調となりました。また、ダイカスト鋳造関連事業も、取引先での生産調整等の影響を受けました。

この結果、産業機器事業全体の売上高は2,929百万円(前年同期比201百万円減)、営業利益は5百万円(前年同期は111百万円の損失)となりました。



タングレス・インサート自動挿入機

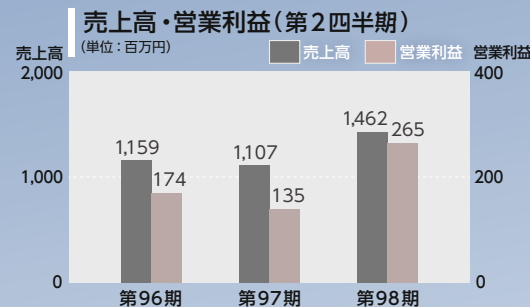


IT関連事業

ITソフトウェア開発・情報処理サービス・システム運用管理の受託

ITソフトウェア開発や情報処理サービス、システム運用管理の受託等を行うIT関連事業では、デジタルトランスフォーメーション(DX)に取り組む企業が増加する中、主力のソフト開発事業において、新規顧客の開拓に努めるとともに品質管理の徹底による生産性の維持向上を図り、引き続き好調に推移いたしました。

この結果、IT関連事業の売上高は1,462百万円(前年同期比355百万円増)、営業利益は265百万円(前年同期比130百万円増)となりました。



連結貸借対照表 [要旨]

(単位: 百万円)

区分		当第2四半期 2023年9月30日	前期 2023年3月31日
資産の部	流動資産	27,350	25,710
	固定資産	25,526	25,407
	資産合計 1	52,877	51,118
負債の部	流動負債	11,350	9,809
	固定負債	7,737	7,944
	負債合計 2	19,087	17,754
純資産の部	株主資本	22,364	23,204
	その他の包括利益累計額	10,643	9,412
	非支配株主持分	781	747
	純資産合計 3	33,789	33,364
負債純資産合計		52,877	51,118

連結損益計算書 [要旨]

(単位: 百万円)

区分	当第2四半期 2023年4月1日から 2023年9月30日まで	前年同期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで
売上高	17,542	19,675
売上原価	11,075	11,983
売上総利益	6,467	7,692
販売費及び一般管理費	6,187	7,030
営業利益	279	661
営業外収益	429	637
営業外費用	316	113
経常利益	392	1,186
特別利益	4	2
特別損失	44	1,520
税金等調整前四半期純利益	352	△331
法人税等	268	568
非支配株主に帰属する 四半期純利益	52	△83
親会社株主に帰属する 四半期純利益	31	△816

連結キャッシュ・フロー計算書 [要旨] (単位: 百万円)

区分	当第2四半期 2023年4月1日から 2023年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー 4	△941
投資活動によるキャッシュ・フロー 5	△718
財務活動によるキャッシュ・フロー 6	414
現金及び現金同等物の当期末残高	6,374

POINT

1 資産の部

流動資産は、受取手形及び売掛金の増加、商品及び製品の増加、現金及び預金の減少等により、前期末に比べ1,639百万円増加いたしました。
固定資産は、投資有価証券の増加、繰延税金資産の減少等により、前期末に比べ119百万円増加いたしました。

2 負債の部

流動負債は、短期借入金の増加等により、前期末に比べ1,541百万円増加いたしました。
固定負債は、退職給付に係る負債の減少等により、前期末に比べ207百万円減少いたしました。

3 純資産の部

為替換算調整勘定の増加、自己株式の取得、利益剰余金の減少等により、前期末に比べ424百万円増加いたしました。

4 営業活動によるキャッシュ・フロー

事業再編による支出839百万円、売上債権の増加等により、941百万円の資金の減少となりました。

5 投資活動によるキャッシュ・フロー

関係会社株式の取得による支出、定期預金の預入による支出等により、718百万円の資金の減少となりました。

6 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の増加、配当金の支払額481百万円、自己株式の取得による支出等により、414百万円の資金の増加となりました。

「JANOME REPORT 2023」を発行

当社では、10月に「JANOME REPORT 2023」を発行いたしました。

本レポートでは、財務情報と非財務情報をまとめ、当社グループの中長期的な企業価値向上に向けた事業戦略やサステナビリティに関する取り組みなどを詳しくご紹介しております。

当社ウェブサイト(IR情報)：<https://www.janome.co.jp/ir/>



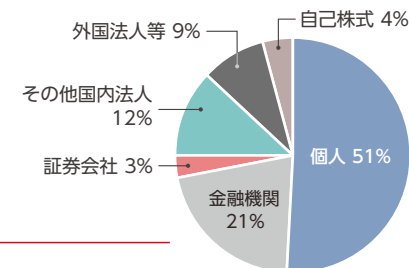
会社概要 (2023年9月30日現在)

商号	株式会社ジャノメ
英語表記	JANOME Corporation
創業	1921(大正10)年10月
設立	1950(昭和25)年6月
資本金	113億7,300万円
連結従業員数	2,506名
本社	〒193-0941 東京都八王子市狭間町1463番地 TEL: 042-661-3071

株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行済株式総数	19,521,444株
株主数	15,752名 (前期末比1,933名減)

株主構成比率(所有株式数ベース)



株主メモ

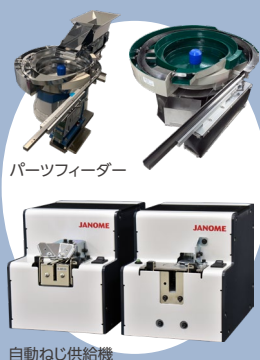
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告の方法	電子公告 https://www.janome.co.jp/ ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株式のお手続き等についてのご注意

1. 住所変更等、弊社株式に関するお手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。
2. 特別口座の株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問い合わせください。

パーツフィーダー専門メーカー・(株)アートテックの事業を取得

山形県酒田市に拠点を置く(株)アートテックを2023年5月に当社グループへ迎え入れました。同社は、高い加工技術と柔軟な設計対応力を持つ1993年創業の部品自動供給装置専門メーカーです。同社製品が当社グループの製品ラインナップに加わることで、それぞれ異なる製品分野を相互補完することができ、生産現場の自動化を強力に後押しし、幅広い顧客ニーズへの対応が可能になります。



パーツフィーダー

自動ねじ供給機

「ミシン使いこなしBOOK」発売中

ミシンの使い方の基本から、知らなかったあのテクニックまで、作品を作りながらマスターできるソーイング本です。

日々の生活をワンランクアップしてくれる、それでいて作りやすい作品を、ソーイング好きな女の子の一週間のライフスタイルを通してご紹介しております。

出版社：ブティック社
体裁：A4変判 / 112ページ
掲載作品数：34アイテム

